

## 1

## ものを燃やすくふう

キャンプなどで木を燃やすには、木の組み方をくふうしたり、うちわなどで空気を送ったりした。かんの<sup>わ</sup>中で割りばしを燃やすには、かんの下のほうに<sup>あな</sup>穴を開けると、よく燃えた。



かんの下のほうに穴を開けるとよく燃えるのは、どうしてだろうか。

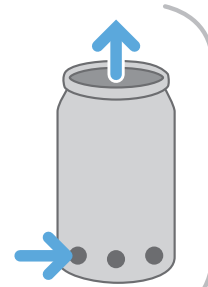


- 次のようにして、自分の予想を、  
図などを使ってかいてみよう。
- 友達<sup>ともだち</sup>の予想と比べてみよう。



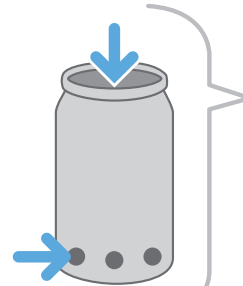
### 予想

かんの上では、ほのおが出て熱い空気が上に上がっているようだったので、下の穴から空気が入って、上から出ていると思う。



### 予想

アは空気の入口が上だけ。イは、空気の入口が、上と下の両方に増えたから、アよりよく燃えたと思う。



● 予想を確かめるために、実験の方法をくふうしよう。

### （実験のくふう）

結果がはっきりわかるように、器具や方法をくふうすることが大切だよ。



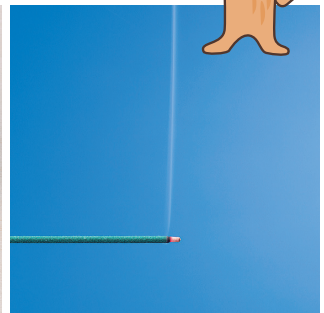
割りばしの代わりに、燃やしやすいろうそくを使う。



かんの代わりに、中が見える、とうめいなびんを使う。



平らにしたねん土の一部を切り取り、底のないびんをかぶせると、びんの下にすき間ができる。



見えない空気の動きは、せんこうのけむりの動きで調べる。

**考えてみよう!**

下の写真を見て、次の①、②に、自分の考えを自由にかいてみましょう。

- ① 次の写真を見て、気づいたことや、ぎ問に思ったことをかいてみましょう。



川の曲がっているところや、川のそばのようすに注目してみよう。



.....

.....

.....

.....

.....

- ③ たくみさんは、別の日にも月の形を観察して、写真にとりました。次の3枚の写<sup>まい</sup>真は、何時ごろ、どの方位の空をとったものですか。それぞれに当てはまる記録用紙を選んで、線で結びましょう。



•

•

朝6時ごろ、ラジオ体そうに行くと、南の空に月が見えた。太陽は、東の空からのぼったばかりだった。



•

•

夕方6時ごろ、買い物の帰りに、西の空に月が見えた。太陽は、西の空にしずんだばかりだった。



•

•

夕方6時ごろ、科学館の観察会で、東の空に月が見えた。太陽は、西の空にしずんだばかりだった。